

第5回学校環境適正化検討委員会会議録

- 一、日 時 令和5年3月23日（木） 午後3時00分～午後4時30分
一、場 所 金浦公民館 2階 軽運動室
一、出席者 本間 徳之、武内 隆之、佐藤 緑、宮崎 絵理、伊藤 兼壽、
阿部 道、竹内 るり子、小笠原 愛美、榑岡 一英、横山 英弥
佐藤 直哉、三浦 順子、齋藤 隆、見山 謙一郎
(計14名)

- 一、事務局 教育次長 畠山 真姫子
教育総務課長 今野 和彦、学校教育課長 菱刈 宏記、
教育総務班 班長 佐々木 真紀子、主査 齊藤 沙織、
主任 竹屋 昭宏

●佐々木班長 ただいまより、第5回にかほ市学校環境適正化検討委員会を開会いたします。はじめに、畠山教育次長よりご挨拶申し上げます。

●畠山次長 年度末大変お忙しいところ、お集まり頂きましてありがとうございます。昨日、おとといのWBCは、本当に感激の試合となり、日本中が明るく元気になった気がします。そして、子ども達にも素敵な夢を見せてくれたのではないかと感謝するような気持ちになりました。

今日は、最後の5回目の検討会となります。皆様のおかげをもちまして、前回の最終のご意見を反映する形で提言書をまとめております。この検討会は、まず何よりも、これからの未来を担う子ども達のための教育環境を第一に考えようという、共通認識を持つことを確認し合い始めました。検討会では、様々な意見が出ましたが、まさに、様々な意見を出して頂くのが、この会議の目的です。時には、勇気を持ってご発言頂いたこともあったと思います。本当にありがとうございました。

提言は、一見、一般的な表現となっており、具体的な内容にはしておりませんので、もしかしたら、物足りなく思う方もいらっしゃると思います。一つ一つの言葉には、この検討委員会の話し合いの結果を裏付けたものになっております。また、提言書には、話し合いの経過を掲載し、幅広い考えがあること、そこから提言につないでいることが分かるようにしたいと考えました。本日、皆様から、最終の意見を伺い、今年度中に委員長から、教育長職務代理に提言書をわたして

いただき、新年度、4月以降は、この提言を元に教育委員会で今後の進め方の計画を立てることになります。

この検討委員会の根底にある考え、子ども達のためにというところは、話し合いの途中、時により、後回しになるときもありがちですが、見山先生のお話を何度も思い返しながらか、話の中心に、子ども達を置き戻して話し合いを進めて参ることができました。見山先生には、改めて感謝申し上げます。そして、真剣に話し合いにご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。最後の話し合いになります、本日の検討委員会もよろしく願いたします。

●佐々木班長 ありがとうございます。早速ですが、案件に入ります。本日の進行は事務局が行います。適正化検討委員会の提言について、事務局より説明いたします。

●今野課長 前回、第4回目の検討委員会で提言書(案)を提示し、皆様からご意見をいただきました。その意見を取り入れた本日の(案)を、確認という意味で皆様にお知らせしたいと思ひます。一部修正がありましたので、その部分もあわせて説明していきます。まず、2、3ページをお開き下さい。こちらは第3回目の教育長のあいさつの内容です。この内容を提言書の後半から前半に移動させました。

次に、6、7ページをお開き下さい。7ページ③中学校の規模の表についてです。表内の小学校を中学校に修正しました。また、②今後の小学校1年生の数、④今後の中学校1年生の数という表の生徒数についてですが、令和5年2月28日現在の数字に修正していきます。

次は14、15ページです。前回提示したものに、内容を追加していきます。それにより、1ページに収まっていたものが、見開きの2ページでの記載になっておひます。ここでは、各小学校、中学校のよさや課題を抽出した形になっていきます。小規模校では人間関係の固定化や、競争心が生まれにくいといった課題がみられました。また、中学校では技能教科の先生を配置できないという課題もあひます。一方で、それを上回るよさも小規模校にはあるということがわかったという内容です。

16、17ページは第3回、第4回検討委員会での話し合いの内容になっていきます。16ページは、適正化、学校規模、手法、実施時期の区分ごとの内容に関する意見を記載しておひます。17ページは前回、提言(案)をご覧いただいた上での皆様からの意見をまとめたものです。前回の議事録も一緒に送付しておひますが、適正化を段階的に進めてほしいというご意見と、何度も統合を繰り返

すのは子どものためにも良くないため、一気に行った方が良いという意見に分かれたような印象を受けました。18ページの適正な学校規模については、前回のままになっています。

19ページは提言についてです。こちらについて説明していきます。前回の提言書(案)に記載のあった、年次計画や学校名等は、入れない方がいいのではないかというご意見が皆様からありましたのでこのような内容になっています。

1の「よりよい教育環境」というのは、施設や設備だけの話ではなく、小規模を解消すること、それを含めたよりよい教育環境という意味合いになっております。また、「長期的な見通しをもって～」については、統廃合を繰り返すようではいけないという意味合いを含んだものとしております。

2については、多様な視点での検討が必要だということで、小学校の統合を経験した後に、中学校の統合も経験するようなことがあってはならないという意味合いも含めたものになっております。

3については、統合を押し付けないというような考えです。

4、5については、学校全体の規模も大事ですが、学年の規模が非常に大事なことであるというものです。人間関係の固定化の解消や、教育効果を上げること、また、中学校では免許外指導を解消するという目的もあり、1学年2学級以上、1学年3学級以上を目指すという目標も記載しています。1学年何学級以上という記載はない方がいいのではないかという意見がありましたが、隣のページに、にかほ市における適正な学校規模として、小学校12学級(各学年2学級)、中学校9学級(各学年3学級)という、目指すべき規模を記載しているので、これは残すことにさせていただいております。

6については、基本的に複式学級は作らないという内容になっています。

7については、例えば、祭、番楽、神楽といった文化的な面の継承も可能な限り努めていただきたいというものです。

8については、7に通ずるものがあるのですが、例えば統廃合で廃止される学校のよい面は統合する側の学校で引き継いで行っていきましょうという内容のものです。以上、8つが提言の内容になります。ごく当たり前のことしか書いていないような印象を受けるかもしれませんが、この当たり前の内容の提言を受けて、教育委員会が計画を立てていくことになり、そこに意味が出てくるのだらうと思います。説明は以上です。

ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

_____にかほ市学校環境適正化に関する提言（案）に対する質問・意見_____

- ・今までの皆様のご意見をもとに提言をまとめられたので、まずは良かったなと思っています。自分が提案した、各校の風土を維持しながら統廃合を進めていくということを盛り込んでいただいてありがたい。来年度以降、計画策定ということでより難儀されるかとは思いますが、教育委員会の方々には未来に向かう子ども達のことを最優先に進めていけたらと思います。
 - ・提言書を提出した後の流れを把握できていないため再度教えてほしい。この後も親の意見や子どもの意見が盛り込まれることはあるのか？
- 提言書を提出した後は、教育委員会で8～9月頃を目安に計画を策定し、PTAに説明。計画がある程度了承されたとなれば、実施に向けて動き出す。計画が了承されてから、少なくとも2～3年程度はかかると思っている。見通しについては、はっきりとは申し上げられないが、それくらいはかかると見込んでいる。
- 親の意見については、PTAの説明会等で何うという形になると思われる。
- ・提言について、前回よりも優しい表現になったが、課題に対する委員会の考え方や意見は過不足なく入っていると思った。
 - ・前回質問のあった抽象的だった部分を、意味を含めた形で具体的にしており、わかりやすくなった。保護者や地域の方に説明する際にも伝わりやすくなったと思われる。
 - ・何をやるにしても最初が一番大変だとは思う。提言をまとめるまでも苦労されたと思う。この地域だけでなく、他でも統合という話はあると思うが、できるだけ成功している事例の良いところを真似して進めていけたらと思う。
 - ・前回も話したが、すでに統合されている中で、なじめない子がいるということについて、少しでもケアできるようにしてほしいと話をさせてもらった。提言の8の部分で、少しでも解消されていくのかなと感じた。
 - ・少子化について、将来的に推計のどの程度までいくのか定かではないが、地域の繋がり、長年継承されてきた伝統文化というのは貴重な教育財産のため、その部分を十分に考慮してほしい。提言書冒頭の教育長のあいさつで触れていたが、市教育委員会としてどのような構想を持っているのかということが気がかり。いつやるのかだけでなく、そういったことも考えてほしい。
 - ・今まで話し合ってきたことを活かしていただいて感謝している。今後もこの丁寧な対応を大事にして、地域住民も納得できる形で進めていただければと思う。
 - ・前回、教育長より教育委員会の考え方として述べていただいたことが腑に落ちた。子ども達にとって何が一番大事か、そして地域にとって何が大事なのかと

いうことをおっしゃっていたと思う。これを活かしながら進めていかなければいけない。

- ・人口推計の数字を目の前に突き付けられたとき、数字の持つ説得力は怖いと感じた。これからどう推移していくのかも含め、委員会に参加している視点からきちんと数字を理解して、これからどうしていくべきなのか考えなければいけない
 - ・仁賀保地区ではTDKが独身者用の寮を建てることもあり、地域に人が増えるのではないかという淡い期待を持ったりしている。そういう社会情勢の変化に対応しながら進めていってほしい。
 - ・この委員会ですら多様な意見が出ている中で、全ての地域まで広げると、私達以上に様々な意見が出てくるのではないかと思う。そういったことも踏まえて提言書を出していただいて、大変だったと思う。検討委員会では、学校規模についての話の割合が大きかった気がするが、学校環境、教育環境となると、どれくらいの規模の学校をつくるかということと共に、教育の内容についても学校任せにしないなど、そういった意識をもっていかなければならないと思った。
 - ・提言1について、「学習環境」から「教育環境」に変えた経緯を教えてください→「学習環境」という言葉だと、勉強という狭い意味でとらえる人が多いのではないかと思い、勉強、人間関係、生活等もっと広く捉えられるようにという考えと、教育長のあいさつでも教育環境という言葉があったため、「教育環境」という言葉に統一した。
 - ・提言4の「規模の人数」について、この人数は児童の人数だと捉えているが、提言5では教員と明記されている。提言4の方を教員数と捉えられないような内容にした方がいいのではないか。
- 表現については再度検討する。
- ・グループワークをとおして色々な意見が出ており、どういう風にまとまるのかと気にしていたが、きれいにまとまったのではないかと思う。前回の反省点も踏まえ修正されている。
 - ・子どもが統廃合を経験している。提言7、8の内容は地域に配慮してあり、ありがたいことだが、これを実行することは大変なのではないかと思う。廃校になった学校は、コミュニティの中核ということからは大きく外れるような形になっており、地域住民が寄り付かなくなっている場所もある。そうならないように、次に統廃合するときには、この提言7、8にあるようなことを確実に進めていただければと思う。
 - ・今後の計画は教育委員会で策定するようだが、今までの話し合いの内容は議事録、提言書に書かれてはいるが、委員の皆様から出された熱い思い等、言葉に

- なっていないところもたくさんあると思うので、計画策定の時にはそのあたりを十分に伝えていただきながら、より良い計画ができるように協力願う。
- 地域の方々が納得し、進めていけるような説明をお願いします。3町が合併し、1つのかほ市にはなったが、各地区の思いをそれぞれが持っているような感じがある。学校が1つになることになることによって、にかほ市も1つになるのではないかという期待もある。
 - 提言書について、固くなく、わかりやすく、伝わりやすくまとまっていると感じた。自分は小学校の思い出を振り返ると、たくさん勉強はしたが、勉強した内容よりも、こういう行事が楽しかった、こういうことをみんなで頑張った、地域のこういう場所にみんなで歩いて行ってこういうものを見た、という体験や経験が心に残っている。子ども達も、将来大きくなった時に、そういった体験や経験を通して人生が豊かになるのではないかと思う。子どもの人柄などは、小さいときの経験で出来上がっていくと考えている。にかほ市の子ども達はとても少なくなっているが、子ども達が将来、にかほ市の学校で育ったということを誇りに思っていて大きくなってほしい。そういった気持ちがあれば、一旦にかほを離れても、いずれはにかほに戻ってきたい、にかほでこういうことを頑張りたいという思いを持った人になるのではないかと思う。そういった土台づくり、にかほは良いところだと思えるような、この学校で学ぶことが出来て良かったと思えるような土台づくり、学校づくりをしていけたらと思う。
 - 提言について、事務局からも話がありましたが、8つの内容については、当たり前で物足りないと感じた。しかし、シンプルイズベストだと思う。一つひとつが大切に重要な内容だと思う。この提言をもとにして、いい計画が出来上がったらいいと思う。

●今野課長 今回指摘のあった部分について再度検討し、同じような内容になるかもしれないが、その内容で提言書を提出させていただきます。

本日の検討会について、見山先生から講評をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

●見山先生 皆様お疲れ様でした。検討委員会への参加を依頼されたときに、教育長がおっしゃっていた、未来志向ということや、子ども達の未来についてマイナス思考ではなくプラス思考で、というところにもものすごく共感し、お受けしたということが最初の経緯でした。この提言を拝見していて、子ども達のことを中心に考えていると感じました。また、検討会でも話題に挙がっており、私自身学びになったことは地域のことでした。教育と地域というのは密接な関係にあるということを感じました。以前の検討会で校長先生のお話を伺って、それぞれの

学校の特徴を活かし、はっきりと発信できることが非常に貴重で、継承していくべきことだとすごく感じました。今回の提言でも、そういったことが盛り込まれております。私たちは最初から参加しており、提言はディスカッションによりできたものなので背景を理解しているが、なぜこの提言1、提言2になったのか、初めて見た人がその背景を理解できるように、全て裏付けがあり、説明ができることを担当が変わっても引き継いでいくことが重要なことだと思っています。

先日、川崎市の会議に出席したときに、議論になったことがありました。行政側が言えることは方向性程度で、検討会についても、ある程度ゴールが見えていて、その上で地域のガス抜きのような形でやるケースがあります。この検討会では皆様が本質的な議論をされていたので、そうではなかったと感じています。今日の段階でこの提言の内容になっておりますが、最初こうなるとは想像だにしていなかったと思います。また、シンプルイズベストという発言がありました。シンプルだからこそ柔軟性があると考えています。この段階で議論したことは、これから環境が変化していく中で、柔軟に、細かに変えていく必要があるものが出てくると思います。そうしたものに柔軟に対応できることが特に重要だと川崎市の会議でも議論になりました。そういう意味でもにかほ市の提言は柔軟性のあるものになっているので、よくできた提言ではないかと思っています。

この検討会では、統廃合ありきのハード面の議論ではなく、どういう魂を残していくかという、ソフト面の話になっていることも良いところだと感じました。そういったところが大事だと思っています。統廃合となったとき、学校を減らせばよいという問題ではなくて、何を残していけばよいのか、そのためにどういったソフトのサポートをしなければいけないのかということが出てくるのですが、この提言の中にはそれらが全て盛り込まれていると思っています。学校を統廃合して終わりではなく、ここから未来をつくっていかなければならないですし、過去からどのように引き継いで、それを未来にどう繋げていくかということ全部考える必要があります。この提言は、そういった未来まで想像できるものになっているところになっており、本当によくまとまっているなと感じています。この検討会では、皆様がそれぞれ自分の考えを発言されたからこそ、この提言にまとまったと思いますし、それぞれがこの8つの提言を見ながら、こういう話からこうなった、という背景を想像できるものになる提言になったことは、この検討会が有効に機能したからではないかと思っています。

先日、東京の学生を10人お連れしまして、仁賀保高校を3月に卒業した生徒と一緒に行動しました。そこで、にかほの歴史的なこと、白瀬南極探検隊記念館、TDK歴史みらい館等色々なところにお邪魔しましたが、学生たちが何に一番引き付けられたかという、人でした。色々な想いをもって会社を経営している社長や、漁師さんのお話を聴いて、人を通じて地域の理解を深めていき、地域を

好きになっていくというプロセスを通じて、やはり人はものすごく大事なものだと思いました。学習というのは勉強になるのですが、教育だとそういったものを含めての話なのではないかと考えています。おそらく、教育長もそういったところを意図して教育という言葉を使っているのではないかと思います。

地域活性化で大事な要素は何かということについて、私は3つのことを重要視しているのですが、1つは場づくりです。この検討会も場ですね。

2つ目は事づくりです。提言をまとめていく過程も含めた事づくりです。

3つ目ですが、地域活性化で一番重要な要素は何かと聞かれたときに、私は人だと考えているので、人づくりです。私が何らかの案件でにかほに来るとするのは、ここに住んでいる人とか、ここで友人になった人に会いたいから、話したいから来るわけです。やはり人です。美しい観光地は一度来たら終わってしまいますが、会いたい人がいる場所にはまた訪れるものだと思います。場づくり、事づくり、人づくりという3つの要素について、この検討会では全てできたのではないかと思います。最後の人づくりという部分についてですが、最初にこの会に参加したときの皆様の価値観と、今の価値観では、地域に対する思いなどが大きく変わっていると思います。そういう意味でもこの検討会自体がいい会だったと思うので、ぜひこの繋がりを大事にさせていただき、事あるごとに集まって話をするような場をつくっていただけるといいなということが、教育委員会へのお願いです。以上です。皆様本当にお疲れ様でした。

●佐々木班長 ありがとうございます。最後に事務局から連絡事項がありません。

●今野課長 半年間、委員会へのご出席、誠にありがとうございました。先ほども申しあげました通り、この提言を受けて、教育委員会で協議しながら適正化計画を策定していきます。その後、基本計画（案）が出来ましたら検討委員会の皆様にもお知らせしたいと考えておりますので、引き続きこういった会を設けたいと思います。ただし、今年度のように何度も開催せず、年数回程度ご意見を伺う会を設けたいと思っていますので、引き続きよろしくお願ひします。異動があった場合は後任者に引継ぎをお願いします。

●佐々木班長 5回にわたり、様々なご意見、想いをありがとうございました。以上を持ちまして、第5回にかほ市学校環境適正化検討委員会を終了します。